

令和5年度事業実績（概要）

1 配合飼料価格差補てん事業（業務対象年間：令和3年度～6年度）

第1四半期から第3四半期まで、連続して発動した。特に、今年度に限り、国の特例措置により、「緊急補てん交付金」が交付された。ただし、基金が枯渇する中、自主財源も求められ、長期の借入金が発生した。

契約件数845件、契約数量1,198,606t

前年度最終実績比較 契約件数30件の増、契約数量1,449tの減

2 畜産振興事業等の推進

(1) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（業務対象年間：令和2年度～6年度）

（公社）宮崎県畜産協会の委託を受け、個体登録等の事務を行った。なお、乳用種において5年度第4四半期まで発動した。また、黒毛和種については、21年ぶりに第2四半期以降発動がみられた。

契約生産者数11戸、個体登録頭数2,152頭

(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度事業（業務対象年間：令和4年度～令和6年度）

（公社）宮崎県畜産協会の委託を受け、個体登録や生産者負担金の徴収等の事務を行った。枝肉価格の低迷から、黒毛和種については、10万円を超える発動となった。なお、交付金は21,647頭、1,374千円であった。

契約生産者数71戸、個体登録頭数27,747頭

積立金納付額337,334,600円

(3) 肉豚経営安定交付金制度事業（業務対象年間：令和3年度～5年度）

事務代行を希望する生産者と委託契約を締結し、書類の作成支援や負担金の徴収等の事務を行った。なお、第4四半期以降11年間発動はない。

契約生産者数56戸、対象頭数400,687頭、納付額132,306,620円

(4) リース事業

事業実施者の償還額を徴収し、納付するとともに、事業の活用を推進した。

畜産環境整備機構関係リース事業については、年度末残高26件、

59,314,299円となった。

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業については、荷受組合等と連携し、2戸の申請書の作成支援、9戸の検収等を行った。

(5) 家畜防疫互助基金支援事業（業務対象年間：令和3年度～5年度）

（公社）宮崎県畜産協会の委託を受け、生産者積立金の徴収等の事務を行った。

契約生産者数133戸、契約頭数528,697頭、積立金額70,133千円